



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8214 URL <http://www.aoki-hd.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 彰宏
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 田村 春生 (TEL) 045-941-1388
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	127,405	3.5	8,584	△6.9	8,520	△11.5	5,006	△8.8
26年3月期第3四半期	123,067	9.0	9,224	△4.0	9,627	△3.1	5,491	△6.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 5,697百万円(3.0%) 26年3月期第3四半期 5,533百万円(△3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	54.90	—
26年3月期第3四半期	66.14	—

(注) 当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	218,583	134,423	61.5
26年3月期	212,755	131,283	61.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 134,423百万円 26年3月期 131,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	30.00	—	18.00	—
27年3月期	—	18.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期の第2四半期末の配当金については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,970	2.5	18,000	△11.7	17,950	△14.0	9,800	△8.3	107.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、3 ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	91,249,504株	26年3月期	91,249,504株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	66,318株	26年3月期	65,090株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	91,183,784株	26年3月期3Q	83,025,977株

(注) 当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を行っております。上記の株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢に改善が見られるなど緩やかな回復基調が継続しております。しかしながら、消費税率引き上げの影響が長引くなか、円安に伴う原材料や生活必需品の価格上昇もあり、個人消費の足元は厳しく、先行きは不透明な状況が継続しております。

このような環境のなかで、当社グループは下記のような諸施策を実施した結果、売上高は1,274億5百万円(前年同期比3.5%増)、ファッション事業の消費税率引き上げの影響等により営業利益は85億84百万円(前年同期比6.9%減)、経常利益は85億20百万円(前年同期比11.5%減)、四半期純利益は50億6百万円(前年同期比8.8%減)となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(ファッション事業)

AOKIでは、信州大学との産学協同開発商品「ビシットふわり羽織るスーツ」や特殊フィルム加工に撥水機能を加えた「温(ぬく)もりコート」等の高付加価値商品を中心とした核商品の提案を強化するとともに、レディース商品等の好調品種の品揃えを強化いたしました。営業面では、商品を軸とした販促施策やスタイリスト制度の深耕等により収益力の強化に努めました。店舗面では、期初からの累計で33店舗を新規出店する一方、移転による2店舗を閉鎖した結果、当第3四半期末の店舗数は552店舗(前期末521店舗)となりました。

ORIHICA(オリヒカ)は、メンズ、レディースともにビジネス及びビジカジスタイルの核商品を磨き上げ、上質感とバリエーションを訴求いたしました。店舗面では、ドミナント化を推進し期初からの累計で10店舗を新規出店した結果、当第3四半期末の店舗数は141店舗(前期末131店舗)となりました。

これらの結果、新規出店効果やレディースフォーマルは好調に推移したものの、消費税率引き上げに伴う消費マインドの低下や就職活動時期の後ろ倒しの影響等により、売上高は734億37百万円(前年同期比4.2%減)、営業利益は21億68百万円(前年同期比55.6%減)となりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

ゲストハウスウェディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、平成26年2月開業の「アニヴェルセル みなとみらい横浜」が引き続きご好評をいただいております。また、既存店の活性化として接客ノウハウの共有化による料飲の販売強化と成約率の向上を図るとともに、施設ごとの特徴を活かした販促・PRを実施いたしました。

これらの結果、「アニヴェルセル みなとみらい横浜」の寄与と平均組単価の上昇等により、売上高は241億91百万円(前年同期比25.9%増)、営業利益は37億42百万円(前年同期比97.5%増)と増収大幅増益になりました。

(カラオケルーム運営事業)

株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、幅広い客層に対応し、目的や用途に沿った忘年会等各種宴会コースや季節感たっぷりの季節メニューの提案及び人気キャラクター等とのコラボレーションキャンペーンを実施し来店促進を図りました。店舗面では、期初からの累計で9店舗を新規出店した結果、当第3四半期末の店舗数は168店舗(前期末159店舗)となりました。

これらの結果、新規出店効果等により、売上高は131億8百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は11億90百万円(前年同期比18.5%増)と増収増益になりました。

(複合カフェ運営事業)

株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、冬季限定ラーメンフェア等の季節限定メニューの提案強化及び各種タイアップキャンペーンの実施等により既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、駅前出店や女性専用エリアの導入にも注力し、大分県への初出店を含め期初からの累計で29店舗を新規出店した結果、当第3四半期末の店舗数は257店舗(前期末228店舗)となりました。

これらの結果、新規出店効果と既存店が引き続き堅調に推移したことにより、売上高は166億88百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益は12億68百万円(前年同期比6.0%増)と増収増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ58億28百万円増加し、2,185億83百万円となりました。

流動資産は、たな卸資産が新規出店等により56億35百万円増加した一方、設備投資や法人税等の支払い等により現金及び預金が54億26百万円、売掛金が季節的要因等により48億円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ42億13百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が土地の取得及び新規出店等により85億51百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ100億41百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、買掛金が季節的要因等により11億81百万円、1年内返済予定の長期借入金が返済により26億36百万円及び未払法人税等が法人税等の支払いにより34億69百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ81億62百万円減少いたしました。固定負債は、退職給付に係る負債が会計方針の変更等により11億73百万円減少した一方、長期借入金が設備投資のための資金調達により118億75百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ108億50百万円増加いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が四半期純利益及び剰余金の配当により24億50百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ31億39百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績については概ね予想どおり推移しており、平成26年11月7日に公表した通期業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,144百万円減少し、利益剰余金が726百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,619	17,192
売掛金	10,127	5,326
たな卸資産	22,751	28,387
その他	10,525	10,911
貸倒引当金	△20	△27
流動資産合計	66,003	61,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	56,929	60,074
土地	31,394	37,134
その他(純額)	12,708	12,375
有形固定資産合計	101,032	109,583
無形固定資産	5,675	6,344
投資その他の資産		
差入保証金	8,588	8,433
敷金	19,364	19,974
その他	12,130	12,497
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	40,043	40,864
固定資産合計	146,752	156,793
資産合計	212,755	218,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,224	19,043
1年内返済予定の長期借入金	8,086	5,450
未払法人税等	4,582	1,113
賞与引当金	1,842	955
役員賞与引当金	167	98
その他	11,775	11,856
流動負債合計	46,678	38,516
固定負債		
長期借入金	22,275	34,150
役員退職慰労引当金	1,764	1,818
ポイント引当金	767	778
退職給付に係る負債	1,534	361
資産除去債務	4,400	4,728
負ののれん	82	61
その他	3,968	3,746
固定負債合計	34,793	45,643
負債合計	81,472	84,160

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	28,757	28,757
利益剰余金	79,029	81,479
自己株式	△43	△44
株主資本合計	131,026	133,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	549	1,159
退職給付に係る調整累計額	△292	△211
その他の包括利益累計額合計	257	948
純資産合計	131,283	134,423
負債純資産合計	212,755	218,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	123,067	127,405
売上原価	64,614	68,879
売上総利益	58,452	58,526
販売費及び一般管理費	49,228	49,941
営業利益	9,224	8,584
営業外収益		
受取利息	75	78
受取配当金	93	127
不動産賃貸料	501	463
負ののれん償却額	555	31
その他	119	199
営業外収益合計	1,345	899
営業外費用		
支払利息	237	233
不動産賃貸費用	483	397
その他	220	333
営業外費用合計	942	964
経常利益	9,627	8,520
特別利益		
新株予約権戻入益	5	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
減損損失	476	662
その他	0	—
特別損失合計	476	662
税金等調整前四半期純利益	9,157	7,857
法人税、住民税及び事業税	2,654	2,301
法人税等調整額	1,010	549
法人税等合計	3,665	2,851
少数株主損益調整前四半期純利益	5,491	5,006
四半期純利益	5,491	5,006

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,491	5,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	610
退職給付に係る調整額	—	80
その他の包括利益合計	41	691
四半期包括利益	5,533	5,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,533	5,697
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合 カフェ 運営事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	76,688	19,202	12,300	14,865	123,057	9	123,067	—	123,067
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5	14	3	—	23	—	23	△23	—
計	76,694	19,216	12,303	14,865	123,081	9	123,090	△23	123,067
セグメント利益 又は損失(△)	4,881	1,895	1,005	1,197	8,978	△44	8,934	289	9,224

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス関連事業です。

2. セグメント利益又は損失の調整額289百万円には、セグメント間取引消去3,027百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,737百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、主に回収可能価額が帳簿価額を下回っている遊休資産、損益が継続的にマイナスとなっている営業店舗及び転貸店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においてはそれぞれ318百万円、8百万円及び149百万円です。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	73,432	24,179	13,105	16,688	127,405	—	127,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	11	3	—	19	△19	—
計	73,437	24,191	13,108	16,688	127,425	△19	127,405
セグメント利益	2,168	3,742	1,190	1,268	8,370	214	8,584

(注) 1. セグメント利益の調整額214百万円には、セグメント間取引消去3,241百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,027百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「売電事業」について管理区分の変更により、報告セグメントの各事業に含めて記載しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、店舗の移転が決定し回収が見込めなくなった又は損益が継続的にマイナスとなっている営業店舗及び回収可能価額が帳簿価額を下回っている遊休資産について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においてはそれぞれ246百万円、269百万円及び120百万円です。